	————— 科目名		企画制作Ⅲ		担当講師	種	田俊二
					I 3— — H12 H-11	<u>                                     </u>	<u> </u>
講的	市実務経験	元放送局勤 	力務				
文	付象学年	2 学年	対象コース	ビジ	ュアルクリエイト	授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業	時間	135 分
修	得目標		፴·構成の立て ミ践的に修得す		を学び、撮影・編集実習	と連動するこ	とで、番組制作
回数	日程			【授	業計	画】	
1	5月8日	作品① 企	画案•構成表	等作成 → 行	後日撮影実習予定(作品	1(1)	
2	5月15日	作品① プ	レビュー・編集	構成表作成	→ 後日編集実習予定	(作品①)	
3	3 5月22日 作品② 企画案・構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品①続き)						
4 5月29日 作品① 追加撮影分プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品①完成)						(作品①完成)	
5	6月5日	作品① 試	写 作品②	)企画案·構	成表等作成 → 後日揖	最影実習予定	(作品②)
6	6月12日	作品② プ	レビュー・編集	構成表作成	→ 後日編集実習予定	(作品②)	
7	6月19日	作品② 構	成表等作成	→ 後日撮影	実習予定(作品②続き)		
8	7月3日	作品② 追	加撮影分プレ	ビュー・編集権	構成表作成 → 後日編	集実習予定	(作品②完成)
9	7月10日	作品② 試	写 総復習・	試験対策			
		定期試験点		得度(50%)平		出物、授業態度	・取組状況など)
Ē	平価方法	成績評価力					- · · · · · · · ·
	評価	上記総合評	平価点 S(10	0-90) A(89-	-80) B(79-60) C(59-50	) D(49以下	不可)
	テキスト	各回授業に	こてプリント配る	र्ते			
ž	注意事項	27時間中	10時間の欠	席で定期試験	検受験不可=卒業ができる。 ●	ません(留年の	となります)

	科目名	<u> </u>	無人航空機概	論	担当講師	成	丑·松永		
		· · · · · · · ·	× 1970 1957 1970	HIII	1— → H17 H17	1 /2.	- 100/17		
講的	<b>市実務経験</b>	ドローンスク	ケール講師						
文	才象学年	2 学年	対象コース	ビジ	ュアルクリエイト	授業形態	実習·講義		
	期間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの	受業時間	45 分		
修	得目標	ドローンの 本操作)を		知識(歴史、)	去律やルール、各種の	申請方法)や基礎	楚技術(機構や基		
回数	日程			【授	業計	画】			
1	5月8日	授業ガイダ	ンス(座学)						
2	2 5月15日 法律・ルール、安全運航管理(座学)								
3	5月22日	機体、送信	機の操作・機能	能、バッテリー	-の運用等				
4	5月29日	ドローンの	操作技術を学ん	ぶ① ホバリン	ング、移動				
5	6月5日	ドローンの	操作技術を学ん	ぶ② ホバリ:	ング、移動				
6	6月12日	ドローンの	操作技術を学.	ぶ③ 目視外					
7	6月19日	ドローンの	操作技術を学.	ぶ④ 応用実	技				
8	7月3日	ドローンの	操作技術を学.	ぶ⑤ 応用実	技				
9	7月10日	試験対策(	座学)						
		定期試験点		 得度(50%)平					
喜	平価方法	成績評価力							
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
-	テキスト	なし							
注	注意事項	9時間中	4時間の欠席	で定期試験受	受験不可=卒業ができ	ません(留年とた	います)		

:	科目名		ストリーミンク	,	担当講師	岡	宏樹
講師	<b>下実務経験</b>	映像制作会	<b>会社勤務</b>				
交	<b>力</b> 大象学年	2 学年	対象コース	ビジュ	アルクリエイト専攻	授業形態	実習
	期間	前期	総授業回数	9 🗓	1回あたりの授業	時間	135 分
修	得目標	ライブ配信	を行うための基	<b>基礎知識、機</b>	材の取り扱い方法を修得	 引する。	
回数	日程			【授	業計	画】	
1	05月09日	授業ガイダ ストリーミン	ンス ゚゚゚゚゚゙゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゙゚゚゙゙゚゚゙゚゚゙゙゙゚゚゙゚゙	言について			
2 05月16日 配信機材(カメラ、ビデオミキサー、ビデオキャプチャー、コンバーター、映像ケーブル)について							ケーブル)につ
3	05月23日	配信機材(	マイク、オーデ	ィオミキサー	、音声ケーブル)につい	C	
4	05月30日	配信ソフトワ	ウェアについて	•			
5	06月06日	配信企画に	こ沿った機材の	選定と仕込る	タ図について①		
6	06月13日	配信企画に	こ沿った機材の	選定と仕込る	タ図について②		
7	06月20日	配信機材の	)セッティング(	D			
8	07月04日	配信機材の	ンセッティング(	2			
9	07月11日	試験対策					
部	·····································	定期試験点 成績評価力	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	得度(70%)平	常点±10点(出席率、提出	出物、授業態度	・取組状況など)
	評価	上記総合語		0-90) A(89-	80) B(79-60) C(59-50	) D(49以下	不可)
	テキスト						
注	意事項	27時間中	10時間の欠	席で定期試験	食受験不可=卒業ができる。	ません(留年	となります)

;	科目名		MA実習Ⅱ		担当講師	田艾	<b></b>
講師	<b>手務経験</b>	音楽·番組	制作会社勤務				
講師実務経験 音楽・番組制作会社勤務 対象学年 2 学年 対象コース ビジュアルクリエイト専攻 授業形態 実習		実習					
	期間	前期	総授業回数	9 🗓	1回あたりの授業	時間	135 分
修	得目標	MA作業の	理解と、付随す	る特殊用語の	の習熟、及び、音声・映像	象に関する知	識を修得する。
回数	日程			【授	業計	画】	
1	5月9日	授業ガイダ	ンス/MAのホ	既要・知識に	ついて		
2	2 5月16日 MA作業準備 / 整音について(1)						
3	5月23日	MA作業準	備 / 整音に	ついて(2)			
4 5月30日 ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(1)							
5	6月6日	ナレーション	ノ・アフレコの4	又録 / 音楽・	や効果音の仕込みについ	ハて (2)	
6	6月13日	整音 / ミッ	ックス について	(1)			
7	6月20日	整音 / ミッ	ックス について	(2)			
8	7月4日	実技習得度	医判定試験				
9	7月11日	定期試験対	対策 / まとめ				
=-	<u> </u>	定期試験点	数(30%)実技修	得度(70%)平	学常点±10点(出席率、提出	岀物、授業態度	・取組状況など)
音	<b>F価方法</b>	成績評価力	ī法:B				
	評価	上記総合評	平価点 S(10	0-90) A(89-	80) B(79-60) C(59-50	) D(49以下	不可)
=	テキスト	各回授業に	てプリント配え	<u> </u>			
注	意事項	27時間中	10時間の欠	席で定期試験	<b>険受験不可=卒業ができる</b>	ません(留年	となります)

;	科目名	モー	ショングラフィ	ック Ⅱ	担当講師	水	上志乃
講師	実務経験		を卒業した後、I として活動中。	映像制作会社	とにてイベント系の撮影	と編集業務に	携わる。後、フ
坎	<b>才象学年</b>	2 学年	対象コース	ビジ	ュアルクリエイト	授業形態	実習
	期間	前期	総授業回数	9 🗓	1回あたりの授業	業時間	135 分
修	得目標	より高度な	AfterEffects	の技術を修得			
回数	日程			【授	業計	画】	
1	5月10日	前期の振り	返り 作品レb	ジュー 作品研	开究		
2 5月17日 フォトショップとの連携 アニメーションを作る							
3	5月24日	イラストレー	-ターとの連携	アニメーショ	シを作る		
4	5月31日	テキストア	ニメーションに	ついて			
5	6月7日	ヌル、親子	レイヤー、エク	スプレッション	たついて		
6	6月14日	カメラの操・	作について				
7	6月21日	これまでの	総復習				
8	7月5日	作品制作					
9	7月12日	作品制作	提出				
評	———— 『価方法	作品提出記 成績評価プ		平常点±10	点(出席率、提出物、授	業態度∙取組	状況など)
	 評価	上記総合記	- 1	0-90) A(89-	80) B(79-60) C(59-5	0) D(49以下	不可)
=	テキスト			, - 1,00	. = ( 25) 2(03 0	. = \	· •/
注	意事項	27時間中	10時間の欠	席で定期試験	食受験不可=卒業ができ	ません(留年の	となります)

;	科目名		作品制作		担当講師	高	
講師	ī実務経験	映画制作会	会社取締役				
坎	<b>才</b> 象学年	2 学年	対象コース	ビジ=	ェアルルクリエイト	授業形態	実習
	期間	前期	総授業回数	9 🗓	1回あたりの授業	美時間	135 分
修	得目標	ショートムー	-ビーを通して	、映画を中心	とした映像の制作、知識	ぱを修得する。	
回数	日程			【授	業計	画】	
1	1 5月10日 授業ガイダンス。映像の知識①。						
2	5月17日	企画、プロ	ットの作成①。	映像の知識(	2.		
3	5月24日	企画、プロ	ットの作成②。	映像の知識(	3.		
4	5月31日	映像の知識	も、シナハン	0			
5	6月7日	テスト撮影。	。撮影実習。				
6	6月14日	シナリオの	作成。				
7	6月21日	画コンテの	作成。				
8	7月5日	ロケハン。フ	カメラテスト。				
9	7月12日	まとめ。ブレ	ノインストーミン	<b>ッ</b> グ。			
						状況など)	
	 評価	上記総合評		0-90) A(89-	-80) B(79-60) C(59-50	D) D(49以下	 不可)
=	テキスト	なし		·			
注	意事項	27時間中	10時間の欠	席で定期試験	検受験不可=卒業ができ	ません(留年	となります)

7	科目名		撮影実習Ⅲ			担当講師	田	端 優一	
講師	実務経験	放送局関連	重会社勤務						
交	<b>大学年</b>	2 学年	対象コース	ビジュ	アルクリ	リエイト専攻	授業形態	実習	
	期間	前期	総授業回数	5 回		1回あたりの授業	時間	270 :	分
修	得目標	実践的に制	削作しながらロ	ケーション、ス	スタジオ	に必要な撮影技	術全般を修行	导する。	
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	5月11日	授業ガイダ	ンス~企画制	作に沿った描	最影機材	オの選定			
2	5月25日	ロケーショ	ン撮影及びスタ	タジオ収録①					
3 6月8日 ロケーション撮影及びスタジオ収録②									
4	4 6月22日 ロケーション撮影及びスタジオ収録④								
5	7月13日	撮影実習Ⅰ	Ⅱ 総まとめ講座	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	対策				
		定期試験点			P常点±		出物、授業態度	ま・取組状況な	(نځ:
評	· <mark>価方法</mark>	成績評価7							
	評価	上記総合記	平価点 S(10	0-90) A(89-	-80) B	(79-60) C(59-50	D(49以下	不可)	
7	テキスト	資料配布							
注	意事項	30時間中	11時間の欠	席で定期試験	食受験 ス	不可=卒業ができ	ません(留年	となります)	

7	科目名		編集実習Ⅲ			担当講館	币	岡	宏樹	
講師	実務経験	映像制作会	会社勤務							
坎	<b>才象学年</b>	2 学年	対象コース	ビ	ジュアル	クリエイト専	攻	授業形態	実習	2 1
	期間	前期	総授業回数	4	回	1回あた	りの授業	時間	270	分
修	得目標	映像表現 <i>0</i>	)実践的なテク							
回数	日程			【授	業	計		画】		
1	05月18日	授業ガイダ 作品制作 I	ンス [ 編集①(素材	の取り込	込み、編集	<b>€、カラーコ</b> ι	ノクション	·)		
2	06月01日	作品制作I	: 編集②(テロ <sup>、</sup>	ップ、MA	、エンコー	-F)				
3	06月15日	作品制作Ⅱ	[編集①(素材	の取り込	込み、編集	€、カラーコレ	ノクション	·)		
4	4 07月06日 作品制作 II 編集②(テロップ、MA、エンコード)									
5										
6										
7										
8										
9										
=-	5./TT === \_\_	定期試験点	数(30%)実技修	得度(70	%)平常点	三十10点(出席	<b>京率、提</b> 出	出物、授業態度	・取組状況	!など)
三 	価方法	成績評価力	ī法:B							
	評価	上記総合評	平価点 S(10	0-90) A	(89-80)	B(79-60)	C(59-50	) D(49以下	不可)	
	テキスト									
注	意事項	24時間中	9時間の欠席	で定期	試験受験	不可=卒業	ができま	せん(留年と	なります)	

;	科目名		スチール実習	П	担当講師	高	橋 吉之
講師	実務経験	カメラ修理:	会社、写真撮影	影および編集	会社勤務	•	
交	象学年	2 学年	対象コース	ビジュ	アルクリエイト専攻	授業形態	実習
	期間	前期	総授業回数	9 🗓	1回あたりの授	業時間	135 分
修	得目標	マニュアル	露出の習熟、	他者からの体	え頼、要求を表現するプ	ī法を修得する	0
回数	日程			【授	業計	画】	
1	5月12日	授業ガイダ	ンス、昨年の打	振り返りおよび	バカメラ操作方法の復	<b>当</b>	
2 5月19日 露出のマニュアル操作習得、露出決定の方法							
3	3 5月26日 撮影実習、マニュアル露出の操作習熟、露出と表現との関係						
4	6月2日	光源、光線		け方生かした	えんだい できない でんぱい でんぱい でんぱい でんし アイス でんし でんし アイス	こよる光の違い	
5	6月9日	撮影実習、	屋外撮影				
6	6月16日	光源の種類	更とホワイトバ <del>ラ</del>	ランス、明るさ	・やホワイトバランスの	意識的なコント	ロールと効果
7	6月23日	模擬受発達	上による作品制	]作①制作計	画立案		
8	7月7日	模擬受発達	上による作品制	]作②撮影実	践		
9	7月14日	作品講評お	ふよび復習、試	験対策			
正期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度·取組 成績評価方法:B						₹・取組状況など)	
	 評価	上記総合記		0-90) A(89-	80) B(79-60) C(59-	50) D(49以下	不可)
=	テキスト	プリント都原		, , ,,,,,	, = (11 03, 0 (00	× = (×1	. •
注	意事項	27時間中	10時間の欠	席で定期試験	験受験不可=卒業がで	きません(留年	となります)

;	科目名		時事研究				担当講師	山	田佳晴	
講師	<b>下実務経験</b>	テレビ・放送	送関連会社勤和	务						
交	<b>ま</b> 学年	2 学年	対象コース		スタッ	フ関連和	4目受講者	授業形態	講	<del></del>
	期間	前期	総授業回数	9	□		1回あたりの接	業時間	45	分
修	得目標	ニュース・閉	<del></del> 寺事問題を読∂	∤解き	、日常生	生活の息	思考・行動に活	用する力を修行	导する。	
回数	日程			【授		業	計	画】		
1	5月12日	授業ガイダ	ンス、時事研究	党につ	いて					
2	2 5月19日 直近のニュースについて①									
3	5月26日	直近のニュ	ースについて	2						
4	6月2日	直近のニュ	ースについて	3 						
5	6月9日	直近のニュ	ースについて	4						
6	6月16日	直近のニュ	ースについて	5						
7	6月23日	直近のニュ	ースについて	6						
8	7月7日	直近のニュ	ースについて	<u>7</u>						
9	7月14日	講義振り返	り、試験対策							
	<u> </u>	定期試験(	筆記試験)100	%、平5	常点士	10点(出	· · · : : : : : : : : : : : : : : : : :	、授業態度•取	組状況な	ど)
計	<b>呼価方法</b>	成績評価力							· · ·	
	評価	上記総合語	F価点 S(10	0-90)	A(89-	·80) B(	79-60) C(59-	50) D(49以下	不可)	
	テキスト	無し	±== = / == =	<u> </u>	<b>. ΕΛ</b> → ~	^ <del></del>		/ <del>                                    </del>	1-1-1-1	
注	意事項	9時間中4日	時間の欠席で	正期記	、験学期	英个可=	<b>华</b> 案ができませ	せん(留年となり	)ます)	

;	科目名		就職ガイダン	ス	担当講師	T -	·岡永			
講師	<b>下実務経験</b>	音響会社菫	<b>力務</b>							
坎	<b>才象学年</b>	2 学年	対象コース	就	職対象各専攻	授業形態	講義			
	期間	前期	総授業回数	9 🗓	1回あたりの授業	<b>業時間</b>	45	分		
修	得目標	主体性を打	寺って就職活重	かを進める上 <sup>.</sup>	で必要な知識を修得する	<b>5</b> .				
回数	日程			【授	業計	画】				
1	5月12日	授業ガイダ	ンス 就職活動	動状況につい	T					
2	5月19日	受験促進、	労働条件につ	いて(賃金、)	時間)					
3	3 5月26日 面接対策									
4 6月2日 受験促進、企業情報の提供										
5	6月9日	就職実習制	度(企業研究	)について						
6	6月16日	受験促進、	メールの送り	方、オンライン	面接について					
7	6月23日	企業講話								
8	7月7日	OB講話								
9	7月14日	受験促進、	企業情報の提	供						
評	 F価方法	2/3以上の	出席で「修得深	<b>斉」評価</b>						
	評価	「修得済」評価(点数評価は行わない								
	テキスト	無し	48100 - 1 -	<del></del>	75 EA	/	L. 11-L- 1.5			
注	E意事項 	9時間中	4時間の欠席	で足期試験	受験不可=卒業ができま	せん(留年と	なります)			

;	科目名	イベント写	実践(新入生歓	迎ライブ前)	担当詞	<b>講師</b>	田端 優一	・岡 宏樹・水上	志乃
講師	<b>下実務経験</b>	映像技術関	<b>月連業務</b>						
次	才象学年	2 学年	対象コース	ビジュ	アルクリエイト	専攻	授業形態	実習	
	期間	前期	総授業回数	7 回	1回あ	たりの授業	<b>美時間</b>	270	分
修	得目標	イベント実力	施に向けて連絡	売的にイベント	- 準備を進める	多事で、より	少実践的に知	識や技術を修行	导する。
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	4月17日	4月17日 各ポジション決定/イベント実施までのスケジュール作成 / チーフ会議							
2	4月18日	オープニン	グ、エンディン	グ映像プラン					
3	4月19日	撮影技術码	確認/オープニン	<b>ング映像用素</b>	材撮影~取り	込み			
4	4月20日	オープニン	ゲ映像編集/コ	ニンディング映	除像用素材撮影	影~取り込	.み/各専攻ス	チール撮影	
5	4月21日	台本読み台 スチール撮		ニング映像プ	レビュー〜ダ	メ出し、確認	認/エンディン	グ映像編集/名	· 専攻
6	4月24日	オープニン	グ映像確認/コ	ニンディング映	は像プレビュー	~ダメ出し	,、編集/仕込	み準備、打ち合	合わせ
7	4月25日	出力映像码	確認~現場チェ	ック/ホールイ	仕込み、チェッ	ク			
評	———— 萨価方法	2/3以上の	出席で「修得済	計画					
	評価	「修得済」語	平価(点数評価	は行わない					
-	テキスト								
注	E意事項	42時間中	15時間の欠	席で定期試験	美受験不可=卒	業ができ	ません(留年る	となります)	

科目名		イベント実践(定期公演前		公演前)	担当講師	田端 優一・岡	引 宏樹·水上 志乃·髙橋 吉之
講師実務経験		映像技術関連業務					
対象学年		2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態	実習
	期間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業	時間	270 分
修	得目標	各専攻間での連携、コミュニケーションを応用し、より実践的な技術、知識を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	8月21日	ZeppSapporo概要、セクション決定					
2	8月22日	ライブ撮影応用実習①					
3	8月23日	ライブ撮影応用実習②					
4	8月24日	モーショングラフィック活用実習					
5	8月25日	ライブ照明基礎、ライブスチール撮影実習@Kissホール					
6	8月28日	校内RH用、Zepp用仕込み図制作~確認					
7	8月29日	ライブコンテ制作/ライブ本番時挿入動画、演出用動画プランニング①/ライティング打ち合わせ					
8	8月30日	ライブコンテ制作/ライブ本番時挿入動画、演出用動画プランニング②/コンテ制作					
9	8月31日	ライブコンテ制作、カメラワーク確認/ライブ本番時挿入動画、演出用動画素材作成、撮影					
10	9月1日	VE実習/ライブ本番時挿入動画、演出用動画素材作成、撮影					
11	9月4日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画編集/配信進行表制作					
12	9月5日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画編集/配信用テロップ、フタ画制作、挿入動画撮影					
13	9月6日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画プレビュー~ダメ出し、編集/一眼エンドロール制作確認①					
14	9月7日	ライブ本番時挿入動画、演出用動画プレビュー~ダメ出し、編集/一眼エンドロール制作確認②					
15	9月8日	校内RH仕込み					
16	9月11日	技術確認、調整、動画関係出力チェック~修正/ライティング打ち合わせ/スチール撮影①					
17	9月12日	技術確認、調整、動画関係出力チェック~修正/ライティング打ち合わせ/スチール撮影②					
18	9月13日	校内RHテクニカルリハーサル/配信システム仕込み					
評価方法		2/3以上の出席で「修得済」評価					
評価							
テキスト		400N+884 07N+88 0 4 m - + + + + + + + + + + + + + + + + + +					
注意事項		108時間中 37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					